

平成30年度岐阜県大会

生徒講評文

8月 4日 4校目	多治見 高等学校
星の王子さま	(既成)・創作
<p>この劇は、「一本のバラと一緒に暮らしていた王子さまが、ある日喧嘩を してしまい、自分の星から飛び出して6つの様々な星を旅したあと、7つ目 の星として地球にたどり着いた」という話で、原作『星の王子さま』を舞台 化して分かりやすく表現したものであると感じました。</p> <p>王子さまが旅しているときに会った6人のキャラクターたちは、王子さ ま(子供)から見たら「自分たちの欲望のままに生活している理不尽な大人」 たちとして表現されていました。</p> <p>また、いろんな星を旅して、キツネに出会った王子さまは会話を通して、 自分にとって本当に大切なことに気付き、王子さまは自分の星に戻る決心が 付いたことが分かりやすく演じられていたと思います。</p> <p>テーマでは、『絆』や、劇中にもあったように『大切なものは目ではなく 心で見る』などがあげられました。</p> <p>どのキャストも、声がよく出ていて、袖にいるバラの言い争う声もよく聞 こえていてよかったです。</p> <p>全体的に音響や照明が少なかったのが、残念でした。音響が少ない分、台 詞が響いていて、とても聞きやすかったのですが、静かな場面が多くなると どうしても間延びした感じがするので、もう少し、場面に応じたBGMがあ るとよかったです。照明では、他の星の話をしているとき、ホリが暗かった ことについで、回想を思わせる演出があってよかったです。という意見と、ホ リがあったほうが、その星の特色が表せられたのではないのかという意見が 出ました。</p> <p>多治見高校の皆さん、お疲れさまでした。</p> <p>大垣養老高校 小林真菜</p>	

